第２学年○組　学級活動（１）指導案

令和４年○○月○○日（○）　第○校時

指導者　　　　　　教諭　　○○　○○

男子○○名　女子○○名　　　計○○名

１　議題　　「修学旅行を成功させるために、普段の生活からできることを考えよう。」

　　　　　　　（ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決）

２　議題について

⑴　生徒の実態

　　　本学級では、学級目標である「HAPPY」（Humanity, Aglare, Personality, Progress, Yell の頭文字）を学校生活の様々な場面で意識させ、日々の活動に取り組んでいる。何事にも意欲的に取り組む生徒が多く、委員会や係などの役割分担にも、クラスの仲間とフォローし合いながら協力していく様子が多く見られる。また、話合い活動については４月から計画的に実施し、意見を述べやすい雰囲気づくりや、仲間に意見を伝える活動に力を入れている。２年生になってからは、学級会を５回行っている。自分から意見を学級全体に伝えることが少しずつできるようになっているが、出た意見をそこから練り上げて意見を集約することにまだ課題がある。今回は、修学旅行を見通して学級で改善できるところについて話し合い、自分たちの所属する学級を自分たちでよりよくしていこうとする意欲や態度の向上を図りたいと考えている。

⑵　議題選定の理由

特別活動の目標に、「集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する」とある。これは、生徒が集団生活や体験活動を通して、仲間と互いに理解し合い、集団の一員としての帰属意識を高め、集団の向上を図る意欲を育てることである。また、集団を向上させるために自分にできることを考え実践していく力を育てることと考えている。

本議題は、修学旅行で求められる自主的・自治的な態度に対して、多くの生徒が改善の必要性を感じている中で選定されたものである。修学旅行に向けて普段の生活からできることを考えることで、学級における生活上の問題の解決を目指すとともに、話合いにより自分たちで学級生活をよりよい方向に発展させていく見通しを持たせたい。また、学級全体の問題として捉え、改善計画を考え実践することで、自主的・自治的な態度を育てたい。

事前に行われた修学旅行ガイダンス後に、「修学旅行の成功」について考えさせアンケートを実施した。このアンケート結果を共通理解した上で、学級会で話し合っていく（アンケート結果は７へ）。

３　第２学年の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| より良い生活を築くための知識・技能 | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
| 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや、他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。 | 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。議題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。 | 学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。 |

４　事前の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時活動の場 | 生徒の活動〇学級活動委員会●全員の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿【観点】（評価方法） |
| ○月○日（○）昼休み | 〇修学旅行実行委員顔合わせ | ・修学旅行を見通して　活動するように助言する。 |  |
| ○月○日（○）５時間目修学旅行ガイダンス | ●修学旅行のオリエンテーション●オリエンテーションを経て、修学旅行の成功について個人で考え、ワークシートに記入する。 | ・修学旅行の目的をしっかり考え、達成するためにどうしたらいいかなどを考えさせる。 | ◎修学旅行の大まかな流れを知り、修学旅行を成功させるために必要なことを考える。【思】（ワークシート） |
| ○月○日（○）昼休み | 〇学級会の話合いのめあてを考える。〇提案者（実行委員）は提案理由を練り上げる。〇話合いの流れを確認する。 | ・前回までの学級会の反省を生かし話合いのめあてを設定するように助言する。・本時の流れ等を検討しながら、話合いのイメージや活動の見通しを持たせる。 | ◎学級会運営委員の役割や修学旅行に向けた取組を決めるための話合いの進行の仕方等を理解している。【知】（観察） |
| ○月○日（○）学級の日 | ●学級会ノートの作成　（修学旅行で守るべきルールやマナーをの欄を記入する）●短冊作成 | ・提案理由に沿った意見を書くことができるように助言する。・自分が出した意見の中から１つ選び、事前に短冊を作成しておく。 | ◎修学旅行に向けて、学級生活における様々な問題に関心を持ち、改善の必要性を感じている。【態】（学級会ノート） |
| ○月○日（○）放課後 | 〇出てきた短冊をジャンルごとに分類する。〇司会がスムーズに進行できるよう話合いの流れを確認する。 | ・話合いが円滑に進むように分かりやすく分類を行う。・司会進行マニュアルを作成し、学級会の中で起きるで　あろうことを想定し、アドバイスをする。 | ◎学級会運営委員の役割や修学旅行に向けた取組を決めるための話合いの進行の仕方等を理解している。【知】（観察） |
| ○月○日（○）放課後 | 〇学級会の流れの再確認をする。〇意見の練り上げ方、まとめ方を考える。 | ・司会がスムーズに進行を行えるように、事前指導を徹底する。 | ◎学級会運営委員の役割や修学旅行に向けた取組を決めるための話合いの進行の仕方等を理解している。【知】（観察） |

５　本時の展開

⑴　本時のねらい

よりよい修学旅行にするため、自分の意見をしっかりと学級全体に伝えるとともに、学級の仲間の考えも生かし合いながら、修学旅行に向けて学級で行う取組を考えることができるようにする。

⑵　指導計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動の計画 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿【観点】（評価方法） |
| １　はじめの言葉２　学級会運営委員の紹介３　議題の確認（修学旅行実行委員）４　提案理由の確認（修学旅行　　　　実行委員）５　決まっていることの確認６　話合いのめあての確認７　教師の話８　話合い話し合うこと①　　「修学旅行に行くにあたって２年○組に必要な力を考えよう。」　　話し合うこと②　　「その力を身に付けるために行う取組を考えよう。」　　話し合うこと③　　「話し合うこと②で決まった取組を実際に行うために役割分担を考えよう。」９　決まったことの確認10　振り返り11　教師の話12　おわりの言葉 | ・司会を中心に円滑に話合いを進めていけるように、事前の打ち合わせを念入りに行う。修学旅行を成功させるために、普段の生活からできることを考えよう。・話し合うこと①では意見を３つまでに絞ること、話し合うこと②では取組を２つに絞ること、取組は期間を設けることをあらかじめ伝える。・話合いのめあてを提示し、司会が見通しを持ち、積極的に話合いに参加できるようにする。・分類された短冊から今の２年○組に必要な力を班で意見を出し合って考えさせる。・話合いでは、意見だけではなく理由も板書し、理由からも合意形成が取れるよう掲示方法の工夫も行う。・取組は期間内で実現可能なものになるよう意識させる。・実際に、取組を行う際にどういう役割が必要か考えさせる。・下記のことを司会に助言する。　○意見が出ないとき→班で話し合わせる　○問題を広げる→他に方法があれば、発表してもらう。　○補足する→賛成（反対）の人で他に理由が　　　　　　　あれば発表してもらう。　○議題に戻す→ねらいが外れてしまったら、議題を確認する。　○分かりにくい時→もう一度言ってもらう。・学級会ノートの振り返り部分を記入させる。・プラスの意見、班を超えて意見を組み合わせるなどの意見が出たら取り上げ評価する。・学級会運営委員の事前準備や本時の司会進行などについて全体で評価する。また、話合いの様子や発言から学級のために、活動をすることができていたことも評価する。・本時終了後から、話合いで出た改善案を実践していけるように声かけを行う。 | ◎理由を踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを伝えている。【思】（観察、学級会ノート）◎話合いのめあてや活動　　　　　内容について合意形成を図るため、建設的な意見を発表している。【思】（観察） |

６　事後の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 期日 | 生徒の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿【観点】（評価方法） |
| ○月○日（○） | ・決定事項を掲示し、可視化する。 | ・本時の話合いから、再度学級としての取組を振り返らせ、望ましい姿を確認させる。 | ◎目標を意識し、友達と協力しながら実践に取り組んでいる。【思】（観察）◎修学旅行を振り返り、全員で決めて実践するよさを感じ、次の活動に生かそうとしている。【態】（振り返りシート） |
| ○月○日（○）～ | ・班決め | ・円滑に行われるよう働きかけをする。 |
| ○月○日（○）～○月○日（○） | ・学級会で決めた取組を行う。 | ・学級会を振り返って、決めた取組を学級全体で取り組めるように助言する。 |
| ○月○日（○）～ | ・修学旅行２日目の班別自主研修のコース決め | ・取組を生かして円滑に行えるように助言をする。 |
| ○月○日（○）～○月○日（○） | ・修学旅行 | ・取組の結果が表れているかを確認する。 |
| ○月○日（○） | ・修学旅行のまとめ・反省 |  |

７　アンケート結果

【修学旅行の成功とはどんなことだと思いますか？】

〈人間関係面〉　　　　　　　　　　　　　　　　　〈学習面〉

・みんなそれぞれ協力し、楽しめること　　　　　　　・京都と奈良の歴史を学ぶことができること

・全員が仲よくなること　　　　　　　　　　　　　　・様々な体験をとおして知識を身に付けること

・２年生全体の団結力が高まること　　　　　　　　　・新しい学びを得ることができること

・誰と班が同じになっても楽しむこと　　　　　　　　・下調べをきちんとすること

・みんなで助け合うこと　　　　　　　　　　　　　　・修学旅行がとても貴重な体験だったと思えること

〈行動面〉

・みんながルールを守ること

・一人一人が自分から行動できること

・自分から積極的に意見を出すこと

・安心・安全の修学旅行になること

・自分たちで計画し、それを実行できること

・現地の人に迷惑をかけないようにゴミを落とさないこと

・時間を守って行動できるようになること

・周りをよく見て行動できること

***修学旅行ガイダンスを終えて***

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　組　　名前（　　　　　　　　　　）

1. 修学旅行ガイダンスを受けての感想を書きましょう。

（どんな修学旅行にしたいか、どんなことが楽しみかなど）

1. 修学旅行ガイダンスを受けて、「修学旅行の成功」とはどんなことだと思いますか？

箇条書きでどんどん書き出してみましょう！！

（修学旅行が終わった時にどんな２年生になっていたい？みんなが楽しいと思える修学旅行って？）